



# 高輪だより

令和5年度 5月号  
港区立高輪幼稚園  
園長 佐藤 幸子

## 豊かな関わりを通して

園長 佐藤 幸子

爽やかな青空にこいのぼりが元気に泳いでいます。ドキドキわくわくの新年度が始まり、1ヶ月が経ちました。朝、門のところで待っていると、笑顔で「おはようございます」と挨拶してくれる子どもたちが増えてきました。日々の園生活を通して遊んだり、関わったりしたことで少しずつ関係ができてきたのだとうれしく思っております。

さて、うさぎ組の子どもたちも段々と幼稚園に慣れてきて、自分の居場所を見つけて遊び出しています。当初は、「ママがいい」と大きな声で泣いていたり、友達が遊ぶ様子をじっと動かずに見ていたりする姿もありました。泣くのも、動かないのも精一杯のその子の表し方です。保護者の皆さんは、心配されたことでしょう。そのような姿を丸ごと受け止めて、寄り添っていくことで子どもたちは、「泣いてもいいんだ」「分かってもらえるんだ」と安心して、その子らしく動きだしていきます。保育室だけでなく、テラスや砂場と少しずつ安心できる場所も広がっています。

うめ組、すみれ組の子どもたちは、うさぎ組の様子が気になって、時々ぞきにきていました。興味津々で2階に遊びに行った子を、優しく連れてきてくれることもありました。うさぎ組の子どもたちも、不思議とお兄さん、お姉さんの言うことは素直に受け止めています。

すみれ組は、毎朝、うさぎ組に持ち物の始末や手の洗い方を教えてくれています。そして、部屋に戻ると、お世話をしてみようだったのかを話し合っています。自分たちの営みを振り返って、課題を見つけたり、解決のための方策を見つけたりして、次へ繋げていくことは、正に小学以降の学びと同じです。みんなで思いや考えを出し合って、より良くしていく「対話的で深い学び」がここにあります。

本園の園内研究のテーマは「一人ひとりが輝いたかなわの子 - 豊かな関わりの中で育ち合いを支える -」です。教職員みんなで豊かな関わりができる機会を作っていきたいと思えます。

わくわく ぼかぼか  
みんなえがおの  
たかなわようちえん



うさぎ組 絵本が大好き!



うめ組  
みんなで土づくり  
トマトを植えようね。



すみれ組  
友達と一緒に作った  
こいのぼり